

## <登壇者>

観光庁 本村参事官による開会の挨拶では、観光DXの目指す方向性や今後の取組についてお話しします。また、トークセッションでは、観光DXを進めることで得られたメリットや、複数地域での取組の進め方、“稼げる地域”の創出に向けたポイント等について、実証事業に取り組んだDMO・伴走支援を担当したコンサルタント・観光庁のそれぞれの視点からクロストークを行います。

### ■開会の挨拶



本村 龍平 (ほんむら りゅうへい) 氏  
観光庁 参事官 (産業競争力強化)

### ■トークセッション

#### 「“観光DX×稼げる地域”の進め方」



原 洋平 (はら ようへい) 氏  
箱根DMO 兼 株式会社ホテルおかだ 常務取締役 営業部長

NECにてシステムエンジニアを経て、2009年に家業である「ホテルおかだ」に着任。2013年仕事をする傍らグロービス経営大学院に入学しMBA（経営学修士）修了。積極的にITの導入を進めており、独自の視点で旅館経営の改善に取り組んでいる。箱根DMO設立時にマーケティング責任者として箱根の観光戦略策定、その後「箱根DMO Touch!」「観光診断書」など分析ツールの開発・普及に尽力。現在は特にデジタル分野での新サービスの検討・開発に注力。

実証事業名：快適な周遊、旅を満喫する箱根温泉まるごとDX事業  
役割：箱根観光に関するデータの収集及び統合システムの企画・構築



松本 百加里 (まつもと ゆかり) 氏  
株式会社リクルート じゃらんリサーチセンター研究員

2011年からリクルートにて旅行領域の自治体におけるプロモーション設計、イベント企画、クリエイティブ制作などディレクターとして活動。その後、宿泊事業者向け業務支援サービスの調査、着地型旅行体験や飲食店のインバウンド領域における商品開発を担当。2018年より現職。「統合的デジタルマーケティング研究」「インバウンド都道府県ポジショニング研究」など発表。

自治体・DMOのマーケティングやデジタル関連のアドバイザーに従事。  
上級ウェブ解析士。各地域での講演や書籍の執筆活動も行う。

実証事業名：海の京都データ交換所プロジェクト  
役割：伴走コンサルタント



佐竹 正範（さたけ まさのり）氏  
公益社団法人 福井県観光連盟（福井県DMO）観光地域づくりマネージャー

福井県あわら市生まれ。  
2000年にヤフー(株)に入社。広報、ブランドマーケティング、CSR等を担当し、地方創生プロデューサーとして自治体をサポート。  
2016年より総務省の地域おこし企業人として北海道美瑛町に出向し、政策調整課長補佐として地域DMO「丘のまちびえいDMO」の立ち上げを行い、CMOとして従事。  
2021年8月から公益社団法人福井県観光連盟に出向し、2024年3月16日の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、観光で「稼ぐ」地域づくりを推進中。

実証事業名：観光実態把握とマーケティングモデルケース造成事業  
役割：観光事業を行ううえで必要なデータの収集・オープンデータ化・活用を推進するとともに実証事業全体を牽引



秋本 純一（あきもと じゅんいち）氏  
観光庁 参事官（産業競争力強化）付 専門官

観光庁において、観光地における消費額増加や体験価値向上を目指し、観光DX事業の推進を担当。

[ファシリテーター]



山田 泰弘（やまだ やすひろ）氏  
ブランコ株式会社 代表取締役CEO/CCO、アートディレクター、二級建築士

インテリアデザイナー、建築現場監督、建築営業マンを経て、2006年にデザイン会社ブランコ株式会社を設立。企業ブランディングを軸に、ウェブデザイン、グラフィックデザインを強みに事業を拡大している。また、福岡IT・クリエイティブコミュニティの中心人物の1人として、2011年に明星和楽の立ち上げ、Fukuoka Growth Next のブランドマネージャーなどを歴任し、今に至る。